

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月28日更新

事務事業名		企業誘致事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	政策部	課長名	古荘 一也
	施策	12	商工業の振興	所属課	商工振興課	担当者名	松井 智則
	基本事業	36	生産・販売力の強化	所属班	商工育成・企業誘致班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	工業団地の計画的整備に向けた活動等の費用S47工業再配置促進法の制定に伴い市町村での取り組みが始まった。S47工業再配置促進法～S58テクノポリス法～H9高度産業集積法～H19制定地域産業活性化法
【業務の流れ】	適用工場指定説明、申請受付、審査、決定通知、税務課へ指定通知の配付。
【主な予算費目】	事業費なし。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	S57～58住民、議会から工業団地への反対運動があった。住民アンケートの結果、雇用の場の確保としての要望があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	新設・増設決定後の企業へ、行政手続の円滑化を図る事務を行う	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年同様、継続して事業に取り組む
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:事務説明を行った企業数 イ:	(単位)社 予算の主な増減の理由
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	企業(合志市内に新設・増設を決定した企業)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:新設・増設を決定した企業数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	スムーズに手続きを行えるようにする	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:手続きを完了した企業数 イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 税収の確保、雇用の促進を図る上で企業誘致に取り組むことは必須である。		総トータルコスト 全体計画 ～年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
①活動指標	ア	社	4	2	5	4	5	5	5	0
	イ									
②対象指標	ア	社	4	2	5	3	5	5	5	0
	イ									
③成果指標	ア	社	4	1	5	3	5	5	5	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3	5	4	4	4	4	4	0
	延べ業務時間	時間	450	960	650	930	650	650	650	0
	(B)人件費計	千円	0	3,955	2,678	3,755	2,678	2,678	2,678	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,955	2,678	3,755	2,678	2,678	2,678	0

事務事業名	企業誘致事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 合志市内に新設・増設する企業に対して、法及び条例に基づきスムーズな手続きが行えることで、目標達成の見込みあり
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ワンストップサービスの向上を図れば、成果の向上の余地あり
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事案がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の計上がないため削減の余地無し。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 専門性を有するため外部委託は適当でない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 税込確保が目的であるため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門性を有するため役割分担は適正である

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

法や条例に基づく事務であり、今後も地道に誘致を図るための事務事業を遂行する

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					